

背景・課題

- 「第6期科学技術・イノベーション基本計画」や「経済財政運営と改革の基本方針2023」などにおいて、研究を支えるマネジメント・支援人材の育成や活躍促進が求められているところ
- 我が国全体の研究力強化に向けて、科学技術のイノベーション政策と研究現場をつなぐ高度な専門人材として、研究開発マネジメント人材(URA、PM等)の更なる量的・質的充実を図るとともに、持続可能なエコシステムを構築することが必要

事業概要

研究開発マネジメント人材

(科学技術のイノベーション政策と研究現場をつなぐ高度な専門人材)

リサーチ・アドミニストレーター(URA)

■リサーチ・アドミニストレーター等のマネジメント人材の育成

URA等のマネジメント人材が担う多様な業務に必要とされる知識の体系的な専門研修受講の機会提供、研修内容の整理、改善等を実施

研修プログラムの例

基礎的なレベルから3段階を設定し、**多岐にわたるURA業務**の知識を得るための必修カリキュラムとして、Fundamental・Coreのレベルにそれぞれ**15科目(10科目群)**を設定し、Coreレベル修了後に専門的なレベルとして分野別のAdvancedレベルを設定。

JSTにおける
一体的
運用・推進
による育成
強化
(※)

プログラスマネージャー(PM)

■プログラスマネージャー(PM)の育成・活躍推進プログラム

PMとして必要とされる能力・経験を身に付けた人材を2段階ステージで育成し、一流のメンターによるサポートと修了者のネットワーキングによりPMとしての活躍推進を図る

プログラムの概要

知財戦略や広報戦略、組織マネジメントなどの知識を学んだ上での**研究開発プログラムの提案書作成**、作成した提案書の**フィージビリティスタディによる実践経験**の2段階ステージによる育成を実施。

※新規プロジェクトの企画・運営など、研究開発マネジメント人材の育成に資する共通の研修コア・カリキュラムの実施が可能
※JSTが研究開発マネジメント人材育成のハブ機能を果たし、育成されたURAやPMが組織を越えて交流・活躍することを促進

■研究開発マネジメント人材の定着に資する調査